

利用・用途・応用分野

無料開放特許

土木・環境分野、河川・河口流域のヘドロ及び土砂礫除去

目的・課題

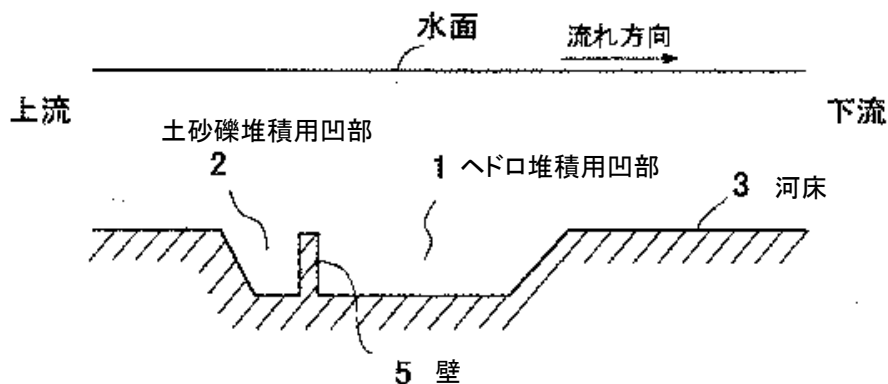
ヘドロ除去方法は、河川感潮域で効果的にヘドロを堆積させ除去できるが、堆積させることができるヘドロの量が少ないという欠点がある。河川の河口域で簡単な構造で多くのヘドロを集中的に堆積でき、さらに上流から流下してくる土砂礫をヘドロと分離して堆積できるヘドロ及び土砂礫堆積用凹部、土砂礫除去方法の提供を課題とする。

解決ポイント

河川感潮域の河床3に、河川を横断する方向に少なくとも2列の人工的な凹部を近接配置し、該凹部の上端を河床高にほぼ一致するようにしたヘドロ及び土砂礫堆積用凹部であって、少なくとも2列の人工的な凹部のうち、下流側の凹部はヘドロ堆積用凹部1で、上流側の凹部は土砂礫堆積用凹部2である。

研究概要・アピールポイント

ヘドロ堆積用凹部の下流端部を斜面にし、上流端部を略鉛直な隔壁にすることで、ヘドロ堆積効果をさらに高めることができる。また、ヘドロ堆積用凹部の底部に乱流成分を抑える構造体を設けてもヘドロ堆積効果を高められる。さらに、上流端部を略鉛直な隔壁にするとヘドロ堆積用凹部内で下流側から底面に沿って上流向きに流れる高濁度のヘドロ懸濁水の動きを効果的に止めることができる。河川の河口域で潮の干満により逆流が発生する河川感潮域で効果的にヘドロを堆積させ、上流から流下してくる土砂礫をヘドロと分離して堆積させることができる。



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp